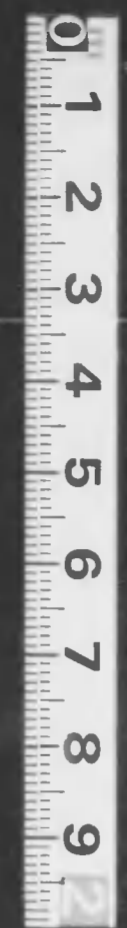


週報 眞實

情報局編輯  
四月一日 第二十四號

昭和十七年四月一日 第三號 發行所 日本郵政特准掛號認爲新聞紙類 郵政省登記第... 印刷所 東京...





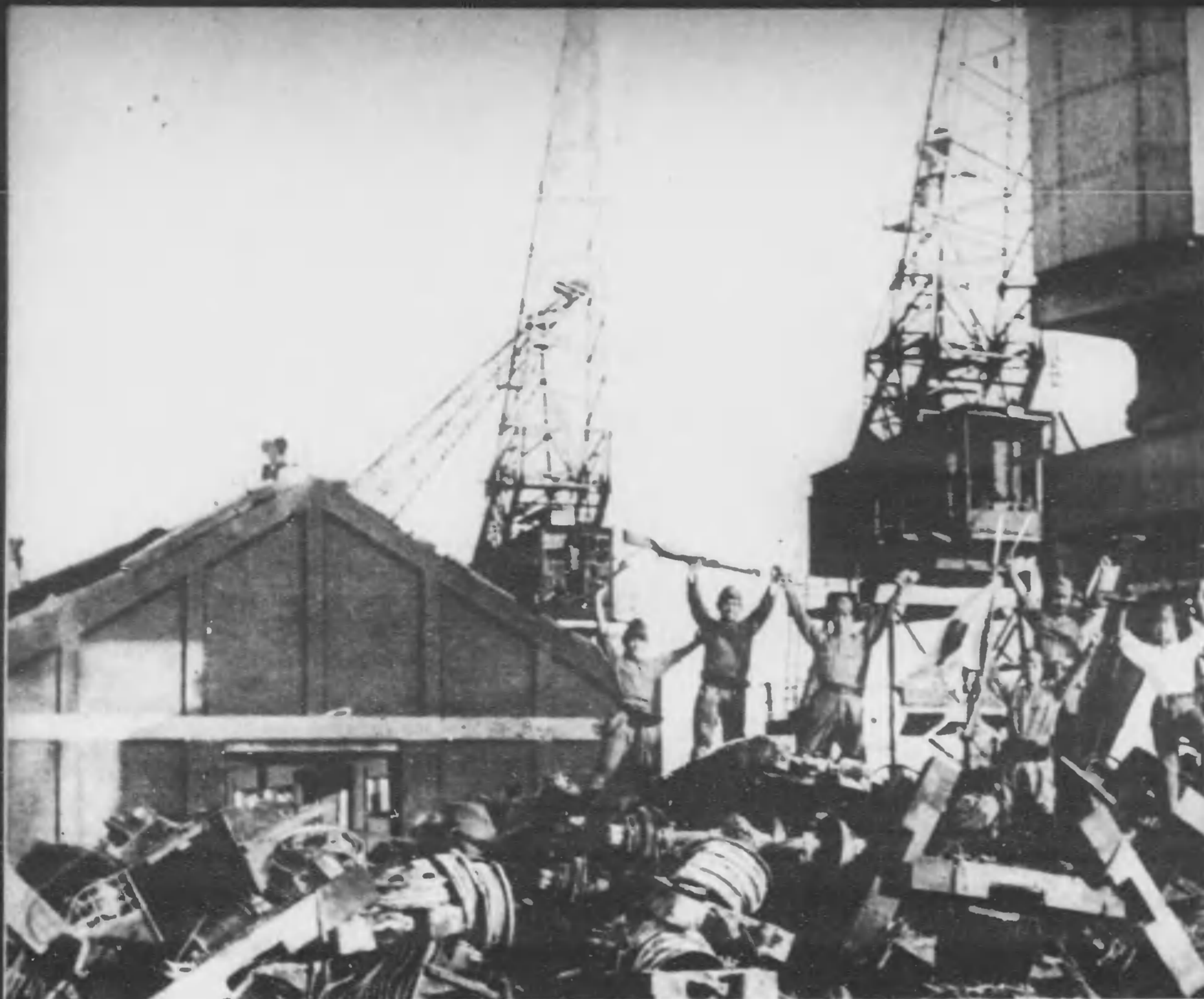
四月から  
 いろいろな意味で  
 本當の戦争生活が始まる  
 四月は人の心を清新にする月だ、丁度  
 新らしく入學する少年少女  
 産業戦線に立つ新卒業生  
 彼等のやうに、元氣一杯  
 大東亞戦を戦ひ抜く生活に  
 突進しよう  
 邁進しよう



開戦三月の不敗態勢を成る

三月七日わがビルマ方面軍はラングーン西北の要衝ベグラーを占領、住民の大歓迎をうけた。ラングーンは黄金塔(シュエーダゴン・パゴダ)と共に佛敎國ビルマで有名なベグラーの大塔佛を仰ぐ皇軍勇士





ラングーンへ、ラングーンへ、炎熱の下を、黄  
塵の中を、人馬一體たど一途に進軍をつづける

ラングーン埠頭には獲物資が山となつて残骸をさらして  
いた。念願のビルマルート切斷に萬歳を絶叫する皇軍勇士

敵がとつた無土戰  
術こそ、ビルマ入  
の反英熱を煽り、  
かへつて英帝國の  
自滅を促すものだ  
燃え上るラングー  
ン市街に突入する  
わが精銳

# 日八月三 ラングーン陥落す



## 開戦三ヶ月 敗勢の態成る

皇軍の保護下にビルマ人のビルマ建設へ住民の熱情は燃えあがる  
まづ我々は日本軍に全的に協力しよう、と誓ふ住民たち

ラングーン陥ち、蘭領東印度の鐵定成つて戦前米英露支聯  
合國が牽引した對日包圍陣が完膚なきまでに粉砕され、開戦  
僅かに三ヶ月にして大東亞戰爭は決定的段階に突入し、皇國  
はこゝに不敗の態勢を築へ得たのである。だが、これで戦争  
が終つたのではないこと勿論である。ロンドンに、ワシントン  
に、敵をして城下の盟を結ばしめるまで、東亞十億民族の血  
潮を賭けて、戦つて戦ひ抜かねばならないのである  
戦争はむしろこれからだ。ラングーン、ジャヴァと東亞の  
地圖を塗り替へ、新しい世界史を拓きつゝ進む世紀の戦譜  
を偲びつゝ、いよいよ勝ち抜く決意を固めよう……







三日月の不敗態の戦

# 英印軍

## 無条件降伏す

三月九日

三月一日、新鋭日本軍大部隊ジャワ島に上陸すの報は、當然推測されたことはあるが、全世界を震駭させた。堂々カホ碑に敵前上陸を敢行したわが陸の精銳



三百年の怨敵英米を駆逐してくれた皇軍を全インドネシア人は双手をあげて歓迎した  
 かが蘭印方面軍はジャワ島上陸後かに九日にして蘭印軍九万三千米英軍約五千をして全面的に無条件降伏せしめた。時に三月九日午後三時であつた。カウチヤチ飛行場に於ける蘭印軍降伏停戦會談、ナール右側手前から二人目が今村最高指揮官



# 春寒き 山西の肅清戦

灼熱の太陽の下方戦線では、日軍の進むところ、英の重要據点は次々と覆滅されてあるが、支那大陸の戦線でも、頑迷な抗日陣営にたゆまない痛撃が加へられてゐる。

即ち山西省内に残存する第十八集團軍下共産軍及び共産系匪の殲滅を期して行はれた冬期山西肅清戦も、赫赫たる大戦果を収めて終了、所期の目的を達成して敵の誇稱する後方擾亂的蠢動を完封した。

撮影 日本映畫社

〇 煙幕にかくれて、肉弾、敵の銃眼目指してよいシヨ、わいシヨ。春近といはいへ肌寒さ寒さと敵々たる山系が連撃を阻む。  
引金に指先が吸ひつきさうな寒寒、だが敵を急追して猛射が續く。



## 信 通 ン ビ リ ヲ

### 敵放送

鈴木 茂

第一回の敵前放送を實施することになった。器材を整備して、隊長以下ヘルモサの基地を出発、自動車がかき山麓の谷間まで行き、そこで全員下車、各自器材を背負ひ一列になつて行軍する。

途中、敵物の全くない、敵軍兵の目撃となつてゐる場所があり、こゝは一向敵軍で通過したが重い器材を背負つての足は辛らかつた。谷底の大きな草食をとつて再び出発、川を渡り、とやうやく第一線だ。こゝで都合上、隊長以下三名だけ残つてあとはムラウインに引き渡した。隊長の命令によつて直ちに放送準備にとりかゝる。兵隊さん達が珍らしさうに自分達の仕事を眺めてゐる。突如、敵の一方に我々機を振ふけ、ラッパを振装しようかと考へてゐると、第一線の兵隊さんが、かへつて怪しまれて撃たれるからそのまゝの方がいいといふので、ラッパを裸のまま、地上に据ゑる。その後方〇〇米のあたりに放送位置を定める。兵隊さんが木を切つて壕の上に目盛ひをつくつてくれる。準備は完了した。

まづ第一線を前線將兵のため國民進軍歌のレコード慰問をやり、續いて敵放送にうつる。隊長が流暢な英語でアナウンスをはじめた。一同胸がワク／＼する。アナウンスが終つてから音楽のレコードを数枚かけた。

果して敵の第一線に聞えてゐるだらうか？

夜になると、日本軍の夜襲を恐れる敵は猛烈に打ち出した。パチパチシュー／＼と物凄い。『よし、はじめよう！』と音楽放送をやり出すと不思議に敵の射撃が緩慢になつた。レコードが終るとまた猛烈に打ち出す。そんなことを四、五回繰り返した。

『効驗あらたかやや』と、隊長も喜んでくれた。電光弾が赤い帯のやうに尾を曳いて星空の下をスワ／＼と飛んで行く。

『あゝ、たうとう實行できたなあ！』とうすくろがりの中で先原と固い／＼握手を交した。

神地偵察に前線へ出掛けたい。少尉以下〇〇名は一日の豫定が二日たつても戻つてこなかつた。無線連絡も一日で絶えてしまつた。心痛した隊長は三日目の晩自ら捜索に向つたのだつたが入れ替りに三人五人と歸り、名までは無事に歸つてきた。残り一名は翌日他部隊からの紹介で敵陣のたぐひに死したことが確認された。

偵察隊は敵の陣中に入り、ばらばらになつて漸く危地を脱したのであつた。

〇〇の若きいのもうたつた。弾もあつた。連射はけん。

大東亞戦争日記

一三 月

一日 ●潜水艦はサンフランシスコ沖合において一万トン級油槽船一隻を撃沈

二日 ●潜水艦は米本上西岸マンドシノ近海において七千トン級貨物船一隻を撃沈

五日 ●福運艦はジャバ海島の殘敵掃蕩中、イギリス掃海艇一隻を撃沈

十日 ●海軍軍はニューギニア島ポートモレスビーに對し本日までに數次の大砲撃を敢行、同地潜伏中の敵機十六機を撃破突上、重要軍事施設を破壊

直撃の身に炸裂す聲もなき。そのたまゆらのいのち尊し。その後、幾度も陣地の偵察が行はれたが、前進偵察所の設置は不可能であつた。私等は偵察所の木立の蔭から、幾度悲憤の眼を敵陣にむけたかわからない。

大いなる氣概に被れ空しかりわれ等に全く敵の視界なし。しかし夜となく晝となく滅多撃ちに砲撃してくる敵に手を拱いてゐるわけにはゆかない。私等は放列布砲撃を開始したのであつた。一弾を放つ毎に飛行機からは胸のすくやうな報告がきた。効力射が終ると協力機は『只今の効力射は効果あり、御健闘を祈る』といふやうな通信筒を投下したりした。私等はそれを放列に知らせた。すると次ぎの砲撃の時は、兵隊の激しい掛聲が放列から高々と聴えてくるのであつた。

効力射終り待ちつゝあれば協力機は下降姿勢にうつりつゝあり通信筒を開き讀みゆく隊長の言葉次第に叫ぶが如し。

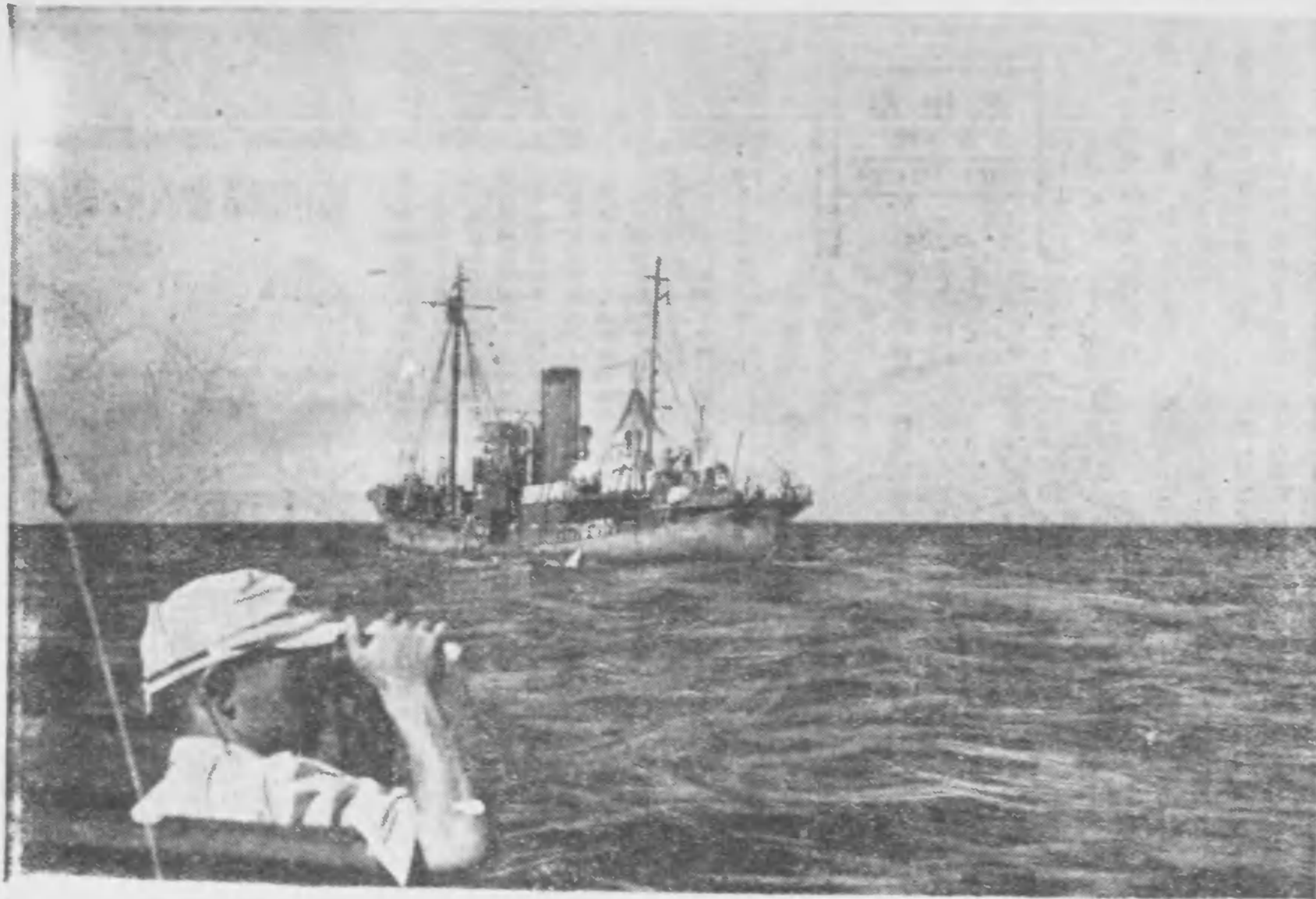
かうして五日間、私等は偵察所から一歩も出ないで射撃を續けた。私達の戦果は二箇中隊撃滅、三箇中隊制圧であつた。

## 大東亞戦争日記

一三 月

- 一日 ●潜水艦はサンフランシスコ沖合において一万トン級油槽船一隻を撃沈
- 二日 ●潜水艦は米本上西岸マンドシノ近海において七千トン級貨物船一隻を撃沈
- 五日 ●福運艦はジャバ海島の殘敵掃蕩中、イギリス掃海艇一隻を撃沈
- 十日 ●海軍軍はニューギニア島ポートモレスビーに對し本日までに數次の大砲撃を敢行、同地潜伏中の敵機十六機を撃破突上、重要軍事施設を破壊
- 十三日 ●海軍軍はポートモレスビーを強襲、敵増援機十一機を撃破、更にソロモン諸島のフロリダ島およびワラワナ島附近の敵基地を砲撃
- 十四日 ●海軍軍はオーストラリア本土北端ホーン島の敵航空基地を襲撃、敵機十四機を撃破
- 十六日 ●潜水艦は目下インドおよびビルマ沿岸方面に作戦し、敵海上交通に甚大なる打撃を與へつゝあり、本日までに撃沈せる敵艦(一)コロボンボ、武装商船二隻六千五百トン、油槽船二隻二万トン
- (二)マドラス方面、武装商船三隻二万四千トン、油槽船一隻七千トン
- (三)ラングーン方面、武装商船二隻一万九千トン、貨物船一隻五千トン

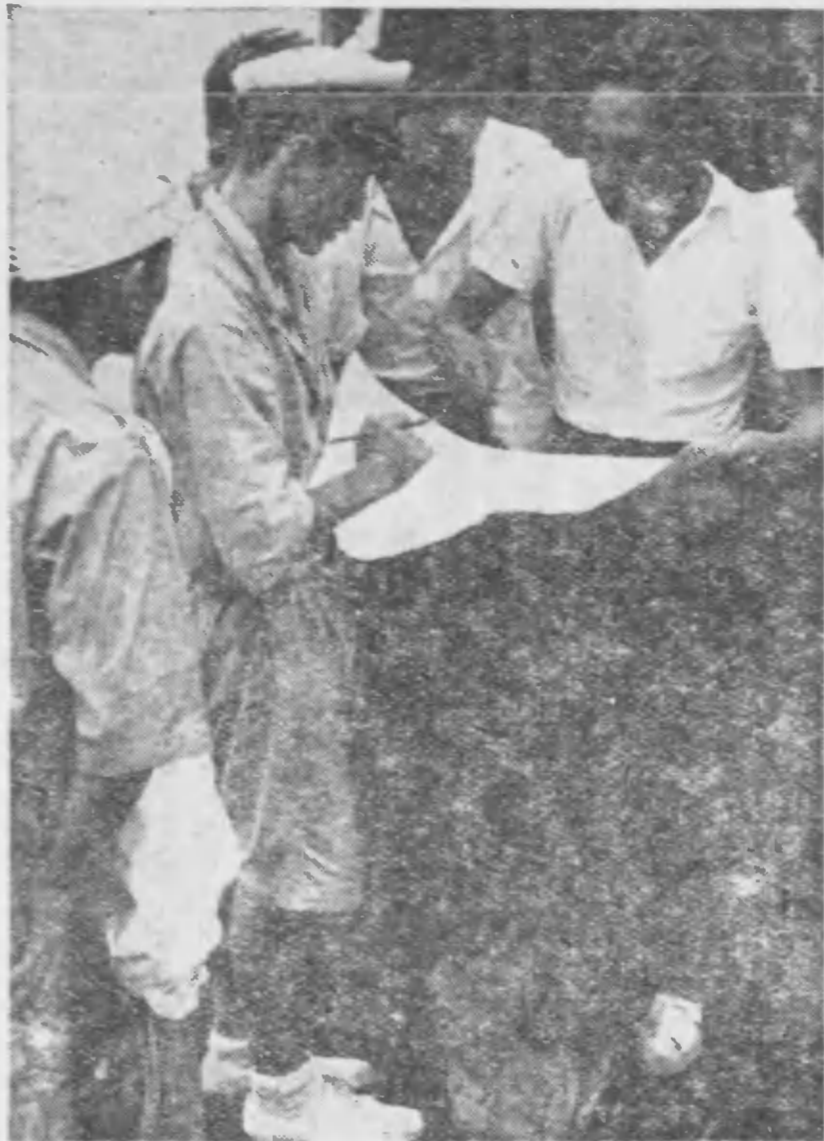




「観望なる砲艦を捕けながらの掃海」



「掃海目的の下きととも大活躍する掃海隊員」



「掃海部隊に協力し状況を確認する任員」



「自然数十米に達する水柱、陣中物爆の壮观、任員の様るカヌーに乗り殺見検査のもとへ」

## む組取と雷機の百幾 闘苦の蔭の隊艇海掃に行溯河シム

開戦以来、世界を驚かしたわが軍の活躍、大戦果の雲に黙々として進身任務を遂行してゐる海上部隊がある。それは華しい海上艦の真に懸命の努力を排つてゐる掃海部隊である。掃海隊はわが輸送船隊のいはば守護神として、また艦隊進入の先驅として常に先陣を承り、遠く先に敵地に乗り込み、砲雷の嵐分、その他障礙物を取り除くために危険極まりない任務に従事してゐる。目に見えない伏兵、敵機雷と取組むといふ地味な、しかも命掛けの掃海隊の苦労があつてはじめて華々しい大戦果があつたことを忘れてはならない。

ここに紹介するのは、過るパレンバン攻勢によく危険なムシ河を進行し、部隊のパレンバン攻勢を可能ならしめた掃海隊のかくれ活躍である。

撮影 山本海軍報道班員



「見張所を掃海、敵はこの中に隠れ、上から掃海を遂行するまかくして来た」





# 兵隊に後をまかせ

## 優良町内會訪問記



世界を動かした皇軍の大戦果には、純忠無比な兵隊さんに後れをとつてなるものと、ガツリ國內戦線を陣取り抜いてある戦後、の力も少くも貢献してあること勿論です。そこで内務省の自治振興中央會は三月十六日、全国町内會部會二十万九百のうちから殊に甲に値する優良町内會部會八十三と、優良町内會部會長長六十九名をばらばらに選んで表彰しました。これら表彰の成績をあげてある町内會や部會はそれでは一體どんなふうにして戦後を戦つてあるのやうか。こゝに優良町内會長として自治振興中央會長である津澤内務大臣から表彰状をうけた一人である福井武生町三田村三氏の属する城町々内會を訪ねてみることにしました。

城町々内會の部會長は、福井武生町三田村三氏です。今年五十二歳、ちよつと永田秀次郎氏に似て、介の低い物靜な方ですが、町内會運営の妙、實に是非皆傳の師匠です。

「この町内會は、昭和十五年誕生しまして、戸數四十二ございます。」

お話の大意を、ご紹介しませう。

貯蓄奉公日、毎  
月十日  
奉公日で  
す。城町の街の辻  
辻目録の通りに、  
一齊に赤い旗を掲  
げられます。旗には、「貯  
蓄奉公日」と白く書か  
れてあります。三田村三氏は、チリン  
と鈴を振つて廻ります  
すると、午前九時までは、五  
百圓近くのお金が通帳と共に集つ  
て参ります。

五百圓の内、  
四百圓は國民貯蓄です。三年間  
置の郵便貯蓄で、一回の掛金が  
最高は四十圓  
四百圓は國民消化準備貯蓄です  
これは三ヶ月毎に幾らか割當て  
られる債券(約五百圓)を消化する  
ためのもので、いつでも、金庫のお  
金をサア来い、と大威張りして待  
ち構へてゐる程、餘裕を振り  
て、おつたり、それは町内會員の  
皆さんの力です。町内會長三田村  
三氏は、謙遜な面持で始終伏目  
勝ち、本年五十二歳、ちよつと永  
田秀次郎氏に似て、介の低い物靜  
な方ですが、町内會運営の妙、實  
に是非皆傳の師匠です。

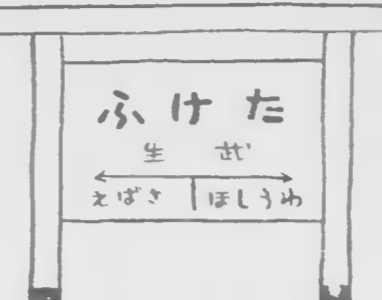
感謝貯蓄といふのがまた別にあ  
ります。

これは、皇軍へ感謝の誠を貯蓄  
で現はします。

この間のシンガポール陥落の  
日には、常會で満場一致、半日で  
二千二百  
圓集つた  
といふこ  
とです。

第吉田  
つぎさん  
の三百  
圓、吉田  
さんは、  
小さな雜  
貨店の女主人公  
トニカク驚いたハリキリ貯金部  
隊です。ア、いづれも特別餘裕の  
ある家庭ばかりではありません。會  
社員、商店、小料理店、労働者の  
四十二世帯です。

現在の貯蓄額四千五百圓  
町内會員一同洩れなく、貯金報  
國に熱心なのは、たしかに三田  
村氏の並々ならぬ努力の賜です  
が、全會員の協力、振りにほま  
とに敬服のほかはありません



春日が光る。ア、青い海だ。日  
本海が見えます。船のやうに美し  
い海だのやうに、小ぢんまりとし  
た買物の港を、クワト左下に見て、  
汽車は、いくつかのトンネルを通  
ぎると再び平野にまきまきし  
ました。

北陸線に  
米り振へ  
ました。

非常に清潔な感じのする武生町  
は、人口二万、住みよこころな街  
です。

仰げば尊しわが師の恩。春の  
風に吹かれて、懐かしい唱歌  
が流れてきます。野  
近くの學校の隣が、  
城町です。

また、別の火鉢を出す段になつた  
らうかつか腹を立て、そんなに出  
したければ家中の現金全部出した  
らう、と、不貞情を  
始末でした。私の母まで頭を振  
ります。しかし私は断然家中の七  
割全部出しました。今や、この大  
東亞戦に必要な弾丸を作るには銅  
鏡がなかつたら、日本は敗けてしま  
ふんです。可愛い息子さん達を  
戦地に出しては御家庭もこの中に  
は、澤山ありませう。息子を戦  
地へ送つて、死戦の火鉢を出さ  
ない。日本國民としてこんな分  
らない話があるものでせうか。!

また、別の火鉢を出す段になつた  
らうかつか腹を立て、そんなに出  
したければ家中の現金全部出した  
らう、と、不貞情を  
始末でした。私の母まで頭を振  
ります。しかし私は断然家中の七  
割全部出しました。今や、この大  
東亞戦に必要な弾丸を作るには銅  
鏡がなかつたら、日本は敗けてしま  
ふんです。可愛い息子さん達を  
戦地に出しては御家庭もこの中に  
は、澤山ありませう。息子を戦  
地へ送つて、死戦の火鉢を出さ  
ない。日本國民としてこんな分  
らない話があるものでせうか。!

また、別の火鉢を出す段になつた  
らうかつか腹を立て、そんなに出  
したければ家中の現金全部出した  
らう、と、不貞情を  
始末でした。私の母まで頭を振  
ります。しかし私は断然家中の七  
割全部出しました。今や、この大  
東亞戦に必要な弾丸を作るには銅  
鏡がなかつたら、日本は敗けてしま  
ふんです。可愛い息子さん達を  
戦地に出しては御家庭もこの中に  
は、澤山ありませう。息子を戦  
地へ送つて、死戦の火鉢を出さ  
ない。日本國民としてこんな分  
らない話があるものでせうか。!

春日が光る。ア、青い海だ。日  
本海が見えます。船のやうに美し  
い海だのやうに、小ぢんまりとし  
た買物の港を、クワト左下に見て、  
汽車は、いくつかのトンネルを通  
ぎると再び平野にまきまきし  
ました。

非常に清潔な感じのする武生町  
は、人口二万、住みよこころな街  
です。

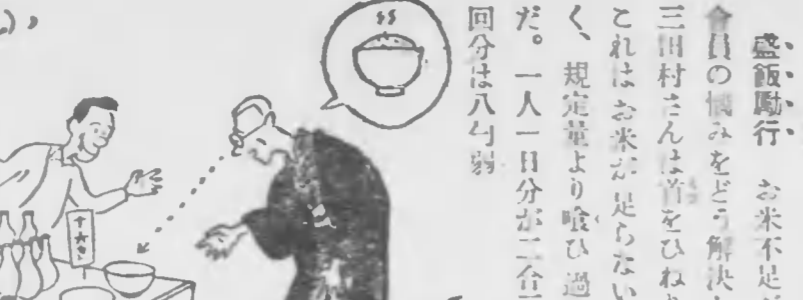
仰げば尊しわが師の恩。春の  
風に吹かれて、懐かしい唱歌  
が流れてきます。野  
近くの學校の隣が、  
城町です。

また、別の火鉢を出す段になつた  
らうかつか腹を立て、そんなに出  
したければ家中の現金全部出した  
らう、と、不貞情を  
始末でした。私の母まで頭を振  
ります。しかし私は断然家中の七  
割全部出しました。今や、この大  
東亞戦に必要な弾丸を作るには銅  
鏡がなかつたら、日本は敗けてしま  
ふんです。可愛い息子さん達を  
戦地に出しては御家庭もこの中に  
は、澤山ありませう。息子を戦  
地へ送つて、死戦の火鉢を出さ  
ない。日本國民としてこんな分  
らない話があるものでせうか。!

また、別の火鉢を出す段になつた  
らうかつか腹を立て、そんなに出  
したければ家中の現金全部出した  
らう、と、不貞情を  
始末でした。私の母まで頭を振  
ります。しかし私は断然家中の七  
割全部出しました。今や、この大  
東亞戦に必要な弾丸を作るには銅  
鏡がなかつたら、日本は敗けてしま  
ふんです。可愛い息子さん達を  
戦地に出しては御家庭もこの中に  
は、澤山ありませう。息子を戦  
地へ送つて、死戦の火鉢を出さ  
ない。日本國民としてこんな分  
らない話があるものでせうか。!

また、別の火鉢を出す段になつた  
らうかつか腹を立て、そんなに出  
したければ家中の現金全部出した  
らう、と、不貞情を  
始末でした。私の母まで頭を振  
ります。しかし私は断然家中の七  
割全部出しました。今や、この大  
東亞戦に必要な弾丸を作るには銅  
鏡がなかつたら、日本は敗けてしま  
ふんです。可愛い息子さん達を  
戦地に出しては御家庭もこの中に  
は、澤山ありませう。息子を戦  
地へ送つて、死戦の火鉢を出さ  
ない。日本國民としてこんな分  
らない話があるものでせうか。!

また、別の火鉢を出す段になつた  
らうかつか腹を立て、そんなに出  
したければ家中の現金全部出した  
らう、と、不貞情を  
始末でした。私の母まで頭を振  
ります。しかし私は断然家中の七  
割全部出しました。今や、この大  
東亞戦に必要な弾丸を作るには銅  
鏡がなかつたら、日本は敗けてしま  
ふんです。可愛い息子さん達を  
戦地に出しては御家庭もこの中に  
は、澤山ありませう。息子を戦  
地へ送つて、死戦の火鉢を出さ  
ない。日本國民としてこんな分  
らない話があるものでせうか。!



盛、盛、盛。お米不足だ。こぼす  
會員の悩みをどう解決しようか。  
三田村三氏は首をひねりました。  
これはお米が足りないのではな  
く、規定量より喰ひ過ぎるから  
だ。一人一日分が二百三十グラム  
一回分は八割弱

三田村三氏の職業は、司法書士  
(検察局や裁判所へ提出の書類作  
製)です。ところがこの小さな町  
に同業者が四軒あって、近頃は、  
仕事も少なくなつた故か、老練の  
三田村三氏のところ以外に他の中  
は、経費倒れで四苦八苦の状態で  
した。そこで、昨年の暮  
「五人が合同して一つ事務所を  
仕事した方がいゝんじやないか」と  
熱心にすすめてきました。

口きく三田村三氏老練なので、一  
同業者は、早速、自分々の病をた  
たみ、机をかついで三田村三氏の  
所へ合同いたしました。

昨日の飯は今日の飯、今では仲  
よく、机を並べてをります。

新編回収美談。こんなお話はあ  
るので、ヨロヨロ三田村三氏は一  
人で、

また、別の火鉢を出す段になつた  
らうかつか腹を立て、そんなに出  
したければ家中の現金全部出した  
らう、と、不貞情を  
始末でした。私の母まで頭を振  
ります。しかし私は断然家中の七  
割全部出しました。今や、この大  
東亞戦に必要な弾丸を作るには銅  
鏡がなかつたら、日本は敗けてしま  
ふんです。可愛い息子さん達を  
戦地に出しては御家庭もこの中に  
は、澤山ありませう。息子を戦  
地へ送つて、死戦の火鉢を出さ  
ない。日本國民としてこんな分  
らない話があるものでせうか。!

また、別の火鉢を出す段になつた  
らうかつか腹を立て、そんなに出  
したければ家中の現金全部出した  
らう、と、不貞情を  
始末でした。私の母まで頭を振  
ります。しかし私は断然家中の七  
割全部出しました。今や、この大  
東亞戦に必要な弾丸を作るには銅  
鏡がなかつたら、日本は敗けてしま  
ふんです。可愛い息子さん達を  
戦地に出しては御家庭もこの中に  
は、澤山ありませう。息子を戦  
地へ送つて、死戦の火鉢を出さ  
ない。日本國民としてこんな分  
らない話があるものでせうか。!

また、別の火鉢を出す段になつた  
らうかつか腹を立て、そんなに出  
したければ家中の現金全部出した  
らう、と、不貞情を  
始末でした。私の母まで頭を振  
ります。しかし私は断然家中の七  
割全部出しました。今や、この大  
東亞戦に必要な弾丸を作るには銅  
鏡がなかつたら、日本は敗けてしま  
ふんです。可愛い息子さん達を  
戦地に出しては御家庭もこの中に  
は、澤山ありませう。息子を戦  
地へ送つて、死戦の火鉢を出さ  
ない。日本國民としてこんな分  
らない話があるものでせうか。!

成る日フットボール場、大和茶  
碗を發見し、飯を盛つてみると丁  
度、八割入りです。クリーム色  
の品のい、軽い茶碗で、一丁十六  
錢。早速、全家庭へ人数だけ、配  
布いたしました。取八分に慣れて  
みると、大和茶碗の音が、いゝと、  
簡米をかかてこの聲を聴くに一  
同大和茶碗です。

成る日フットボール場、大和茶  
碗を發見し、飯を盛つてみると丁  
度、八割入りです。クリーム色  
の品のい、軽い茶碗で、一丁十六  
錢。早速、全家庭へ人数だけ、配  
布いたしました。取八分に慣れて  
みると、大和茶碗の音が、いゝと、  
簡米をかかてこの聲を聴くに一  
同大和茶碗です。

成る日フットボール場、大和茶  
碗を發見し、飯を盛つてみると丁  
度、八割入りです。クリーム色  
の品のい、軽い茶碗で、一丁十六  
錢。早速、全家庭へ人数だけ、配  
布いたしました。取八分に慣れて  
みると、大和茶碗の音が、いゝと、  
簡米をかかてこの聲を聴くに一  
同大和茶碗です。

成る日フットボール場、大和茶  
碗を發見し、飯を盛つてみると丁  
度、八割入りです。クリーム色  
の品のい、軽い茶碗で、一丁十六  
錢。早速、全家庭へ人数だけ、配  
布いたしました。取八分に慣れて  
みると、大和茶碗の音が、いゝと、  
簡米をかかてこの聲を聴くに一  
同大和茶碗です。

成る日フットボール場、大和茶  
碗を發見し、飯を盛つてみると丁  
度、八割入りです。クリーム色  
の品のい、軽い茶碗で、一丁十六  
錢。早速、全家庭へ人数だけ、配  
布いたしました。取八分に慣れて  
みると、大和茶碗の音が、いゝと、  
簡米をかかてこの聲を聴くに一  
同大和茶碗です。

成る日フットボール場、大和茶  
碗を發見し、飯を盛つてみると丁  
度、八割入りです。クリーム色  
の品のい、軽い茶碗で、一丁十六  
錢。早速、全家庭へ人数だけ、配  
布いたしました。取八分に慣れて  
みると、大和茶碗の音が、いゝと、  
簡米をかかてこの聲を聴くに一  
同大和茶碗です。

成る日フットボール場、大和茶  
碗を發見し、飯を盛つてみると丁  
度、八割入りです。クリーム色  
の品のい、軽い茶碗で、一丁十六  
錢。早速、全家庭へ人数だけ、配  
布いたしました。取八分に慣れて  
みると、大和茶碗の音が、いゝと、  
簡米をかかてこの聲を聴くに一  
同大和茶碗です。

成る日フットボール場、大和茶  
碗を發見し、飯を盛つてみると丁  
度、八割入りです。クリーム色  
の品のい、軽い茶碗で、一丁十六  
錢。早速、全家庭へ人数だけ、配  
布いたしました。取八分に慣れて  
みると、大和茶碗の音が、いゝと、  
簡米をかかてこの聲を聴くに一  
同大和茶碗です。

成る日フットボール場、大和茶  
碗を發見し、飯を盛つてみると丁  
度、八割入りです。クリーム色  
の品のい、軽い茶碗で、一丁十六  
錢。早速、全家庭へ人数だけ、配  
布いたしました。取八分に慣れて  
みると、大和茶碗の音が、いゝと、  
簡米をかかてこの聲を聴くに一  
同大和茶碗です。

成る日フットボール場、大和茶  
碗を發見し、飯を盛つてみると丁  
度、八割入りです。クリーム色  
の品のい、軽い茶碗で、一丁十六  
錢。早速、全家庭へ人数だけ、配  
布いたしました。取八分に慣れて  
みると、大和茶碗の音が、いゝと、  
簡米をかかてこの聲を聴くに一  
同大和茶碗です。

成る日フットボール場、大和茶  
碗を發見し、飯を盛つてみると丁  
度、八割入りです。クリーム色  
の品のい、軽い茶碗で、一丁十六  
錢。早速、全家庭へ人数だけ、配  
布いたしました。取八分に慣れて  
みると、大和茶碗の音が、いゝと、  
簡米をかかてこの聲を聴くに一  
同大和茶碗です。

成る日フットボール場、大和茶  
碗を發見し、飯を盛つてみると丁  
度、八割入りです。クリーム色  
の品のい、軽い茶碗で、一丁十六  
錢。早速、全家庭へ人数だけ、配  
布いたしました。取八分に慣れて  
みると、大和茶碗の音が、いゝと、  
簡米をかかてこの聲を聴くに一  
同大和茶碗です。

常會で銀へ上げた部落の姿  
青森北津郡津浦村部落會は、  
時局が農村に要求する重大任務を  
負つて、七十二百一十九、何の苦もなく  
やり遂げています。食糧増産は當然な  
こと、貯蓄は割當以上のものをする外  
簡易保険は普及し、老幼男女の區別な  
く、もれなく加入してゐます。事業の  
詳細は出来ないから、今はただ、當  
部落活力の根源を探ませう。毎夕食  
後、共同風呂に一日の汗を流し、共同理  
髪所にて髪を剃かした後、完備した  
集會所に、老幼男女一家に睦んで、着  
替舞に興じ、ラジオに、讀書に、意  
ない修業こそは、明日の活力の源泉で  
す。毎月一回の乳幼児、健康の検査、  
共同作業場に設備の製粉機を利用、自  
家生産の粉米、乾干鰯、蔬菜を材料と  
する栄養食愛國パン、栄養餅の奨励な  
どにより、農村人の資源の増進に努め  
つつ、健康から来る明朗な氣を部落に  
みなぎらせてゐます。活力の源泉はこ  
こにもあります。

常會で銀へ上げた部落の姿  
青森北津郡津浦村部落會は、  
時局が農村に要求する重大任務を  
負つて、七十二百一十九、何の苦もなく  
やり遂げています。食糧増産は當然な  
こと、貯蓄は割當以上のものをする外  
簡易保険は普及し、老幼男女の區別な  
く、もれなく加入してゐます。事業の  
詳細は出来ないから、今はただ、當  
部落活力の根源を探ませう。毎夕食  
後、共同風呂に一日の汗を流し、共同理  
髪所にて髪を剃かした後、完備した  
集會所に、老幼男女一家に睦んで、着  
替舞に興じ、ラジオに、讀書に、意  
ない修業こそは、明日の活力の源泉で  
す。毎月一回の乳幼児、健康の検査、  
共同作業場に設備の製粉機を利用、自  
家生産の粉米、乾干鰯、蔬菜を材料と  
する栄養食愛國パン、栄養餅の奨励な  
どにより、農村人の資源の増進に努め  
つつ、健康から来る明朗な氣を部落に  
みなぎらせてゐます。活力の源泉はこ  
こにもあります。









**南方から積々實船**  
 陽春にきらめく波濤をわけて南  
 方から米や砂糖等を山と積んだ  
 貨船が瀬々と内地の港へやつて  
 きました。これはとなく必需品  
 にも不足勝ちな戦後に、少して  
 もらるほびをもたさうと、手  
 一杯な戦時輸送の一部を割いて  
 の親心です。一粒の運米にも  
 この気持ちをつくんで大切に載き  
 ませう

- 一 日 学校学年始  
 二 日 二十日までに第  
 三 回戦時貯蓄債券  
 及び第二回戦時  
 報國債券賣出  
 四 日 圖書館記念日  
 五 日 圖書館記念日  
 六 日 愛林日  
 七 日 愛馬の日  
 八 日 大詔奉戴日  
 九 日 水産日  
 十 日 少年保護記念日  
 十一 日 八日から本日本  
 十二 日 八日から本日本  
 十三 日 少年保護記念日  
 十四 日 少年保  
 十五 日 護運動展開さる  
 十六 日 二十四日  
 十七 日 二十八日  
 十八 日 まで靖  
 十九 日 國神社臨時大祭  
 二十 日 天長節  
 二十一 日 東京代々木練兵  
 二十二 日 場て觀兵式舉行  
 の豫定

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

**大詔奉戴日の歌**

大政翼賛会制定

一、大光の御影をたぐひて  
 二、おとしをたぐひて  
 三、おとしをたぐひて  
 四、おとしをたぐひて  
 五、おとしをたぐひて  
 六、おとしをたぐひて  
 七、おとしをたぐひて  
 八、おとしをたぐひて  
 九、おとしをたぐひて  
 十、おとしをたぐひて  
 十一、おとしをたぐひて  
 十二、おとしをたぐひて  
 十三、おとしをたぐひて  
 十四、おとしをたぐひて  
 十五、おとしをたぐひて  
 十六、おとしをたぐひて  
 十七、おとしをたぐひて  
 十八、おとしをたぐひて  
 十九、おとしをたぐひて  
 二十、おとしをたぐひて  
 二十一、おとしをたぐひて  
 二十二、おとしをたぐひて  
 二十三、おとしをたぐひて  
 二十四、おとしをたぐひて  
 二十五、おとしをたぐひて  
 二十六、おとしをたぐひて  
 二十七、おとしをたぐひて  
 二十八、おとしをたぐひて  
 二十九、おとしをたぐひて  
 三十、おとしをたぐひて





⇒ 寒風もものかは、僚艦と強みな  
：續けられる手旗信號



⇐ 北洋と、僅として光るわが監視  
の眼

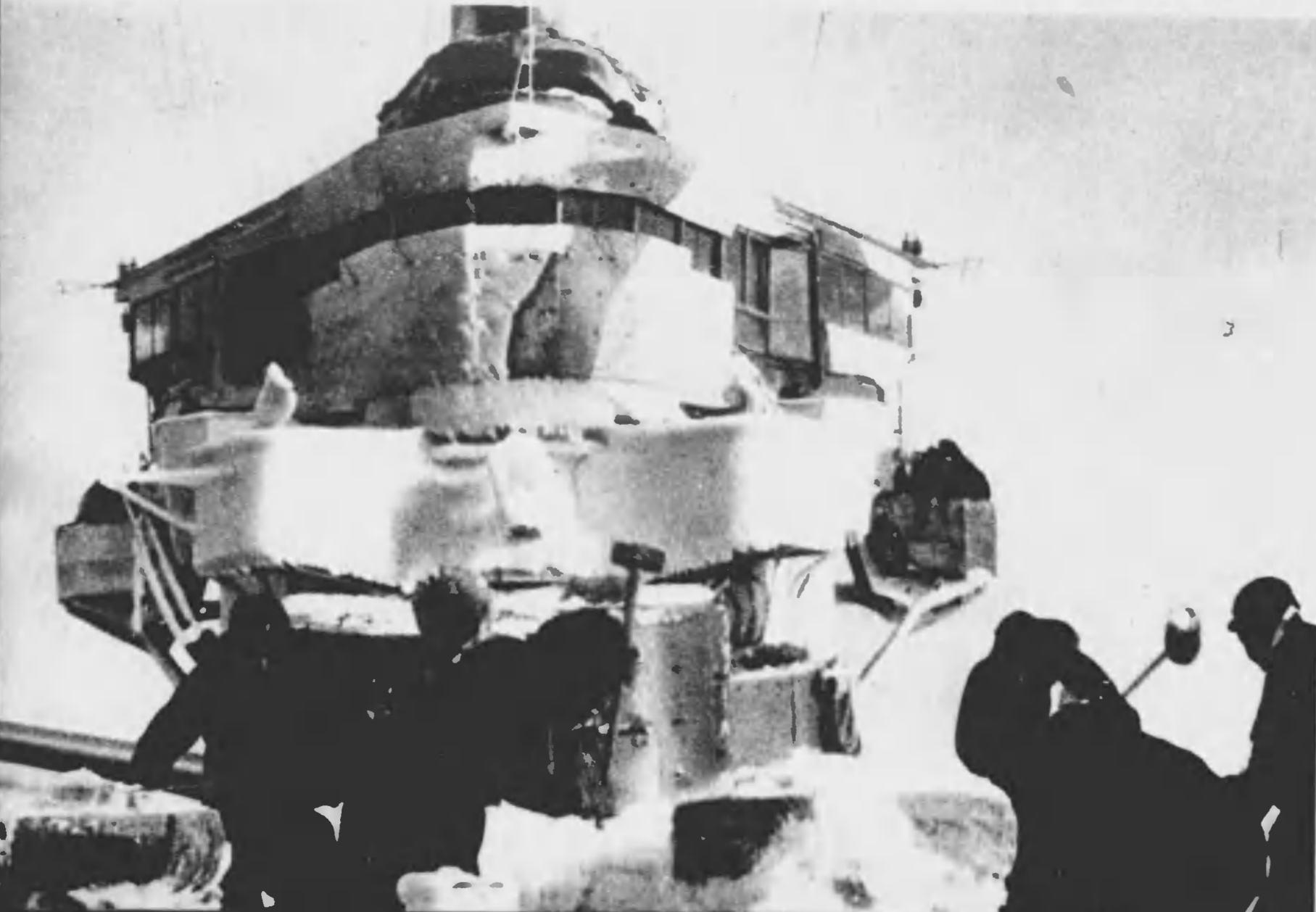
廣袤實に二万キロ、遠く南方、赤道直下の洋上から遙か北の方アリューシャン列島の近海に到るまでわが無敵海軍艦隊の防衛陣は艦として敵の蠢動を許さない

波高い北洋の波濤を踏つて警戒に當る帝國海軍の雄健は、もしわが本土に襲ひ來たるものがあれば斷乎一撃の下にこれを粉砕すべき萬全の備へを固めてゐる。ものみな凍る北洋の颯寒に船身はさながら巨大な氷柱と化し、ともすれば足をとられる甲板に元氣一杯結氷と闘ふわが海の勇士の姿こそ雄高である

撮影 海軍省

# 北洋の護り を嚴に

↑ 汗と怒濤の闘ひが南なら、氷と怒濤との闘ひは北だ  
全艦は氷に包まれ、艦橋まで洗ふ怒濤を衝いて北洋を渡るわが艦隊



⇐ さながら氷柱と化した船身の氷けつり  
甲板の上もろくに艦橋を覆つたしぶきま  
で凍る艦寒 けふは甲板の氷落した







みんなが育てた  
鯉はみんなに

東京市 鎌田国民学校



□『魚より大きくなれ』子供たちは育つのを楽しみに餌をまいてきました

□自分たちの手で育てた鯉は『養魚池の鯉』として理科の教材に使いました

食糧の増産をはかるために、東京市が肝煎りで同市江戸川区内の空閑池を利用して養魚をやることになったことは昨年三月十九日発行の本誌で紹介しましたが、鯉、鱒、ワカサギ、モロコの種類を放ちはじめたから一年餘のこのほど大漁の収穫をあげました



鎌田国民学校千五百坪の養魚池からは二千餘貫の漁獲があり、全校三百五十名の子供たちが朝夕に、田にしゃいなど、お弁当の残り御飯などを餌として與へた母識の甲斐があつて魚の成長具合は大へん良好でした

もと／＼この学校が養魚を行つた目的は児童の栄養を十分にするためだったので、獲れた二千貫の鯉、鱒、ワカサギ、モロコは全校児童に分配され、各家庭の食糧を賑はしました

撮影 林忠彦

□とれたぞ、とれたぞ、一貫五百貫の大鯉がとれました

□よ、大きな鯉だなあ！うん、僕たちが育てた学校の養魚池の鯉なんだ







大東亞戰爭感謝貯蓄



賣出四月一日〜三十日

第二期 戰時 貯蓄 債券 債券  
一 枚 十 円 五 円

復興貯蓄債券の満期償還金をお買ひなされば  
乗換金がつまへます

大藏省・逓信省・日本勧業銀行

東京新聞 昭和十七年四月一日

印刷局印刷發行